

トップメッセージ

平成17年国勢調査において、本県の人口は初めて減少に転じました。

人口減少と急速に進展する少子高齢化は、地方における過疎化の進行や都市への人口集中と税収の偏在といった問題を引き起こすだけでなく、中山間地域における耕作放棄地や限界集落の拡大、都市周辺地域におけるエネルギー消費量やゴミ排出量の増大など、環境面においても新たな課題を生み出すこととなります。

本県は今まで経験したことのない大きな転換期にあります。 「富県共創！ 活力とやすらぎの^{くに}邦づくり」を県政運営の理念として、県民一人ひとりが、美しく安全な県土にはぐくまれ、産業経済の安定的な成長により幸福を実感し、安心して暮らせる宮城の実現に向けて、今後とも様々な施策を展開していくことにしています。

人口の減少とそれに伴う課題を乗り越えて、ゆとりある環境と持続可能な社会を築いていくために、県民の皆様をはじめ、事業者並びに行政機関が、家庭や地域、職場、学校等の様々な場において環境保全のための活動に参加し、行動の輪を広げていくことが重要です。

私たち一人ひとりの取組で社会を変え、そして豊かな宮城を築きあげましょう。

このレポートは、県内最大規模の事業者である県が自らの事務事業に伴って生じる環境負荷を低減するために率先して取り組んでいる環境保全率先実行計画、ISO14001環境マネジメントシステムの平成18年度の成果を取りまとめたものです。

県では、皆様から御意見、御提言をいただきながら、県自らの取組を一層推進していきまるとともに、県民の皆様が環境問題への関心を持ち自主的に環境保全のための活動を行う契機となりますよう、県の取組成果を積極的に情報公開、情報提供してまいります。

平成20年3月

宮城県知事

村井 嘉浩